学科名	二級自動車整備士科・一級自動車整備士科 					
科目名	ジーゼルエンジン					
履修年次	1年次	履修学期	4月~2月	授業形態	講義	
総時限	22時限	単位時間数		39.6時間(2.6単位	<u>.</u>	
教科書等 持参品	・3級自動車ジー	-ゼルエンシ	ブン			
教科担当	・我妻 孝・三島 哲 ・榊原 友紀	・皆川 幸正 ・	大和田 英彦 ・佐藤	藤 信也 ・吉田 直人・	岡崎 英貴	
	・ジーゼルエンジ	ンを整備する	ために、エンジン	の基礎的項目を理解	する。	
目的	・ジーゼルエンジ	ンの部品の名	称、機能を理解す	る。		
	・簡単な内容である	れば、お客様	に説明できること	を目指す。		
	・自動車整備士の国	国家試験問題	を解ける学力を目持	旨す。		
	項目				時 限	
	・ジーゼル・エンシ	ブンの動向 ・	引火と着火 軽油の	の性状	2	
	・燃焼 ジーゼル・	ノックとガ	ソリン・ノック		2	
	・ジーゼル・ノック	7の予防 排	出ガス		2	
 概 要	・エンジン本体	直接噴射式と			2	
111/6 54	・燃料装置:分配型	型インジェク :	ション・ポンプ		4	
	・燃料装置:電子制	il御式燃料装i	置		4	
	・燃料装置:コモン	レール式高 <u>原</u>	王燃料噴射装置		4	
	・予熱装置				2	
	・ジーゼルエンジン	ノに使用され ⁻	ている燃料を説明で	できる。		
	・ジーゼルエンジン	ンの性能、特 征	数について説明でる	きる。		
到達目標	・エンジン本体各部	『の構成、部点	品名称を説明できる	3.		
	・エンジン本体各部	『の構成部品の	の役割、構造、作動	かを説明できる。		
使用教材						
成績評価	※ 定期試験の復	 点により	100~85点:5 8	4~65点:4 64~5	0点:3 合格	
の方法			4	9~30点:2 29~	0点:1 不合格	
教科担当の 自動車整備経験	自動車販売・整備に	関わる会社にて	自動車整備士として	この勤務経験がある。		

314 TV 6	T				
学 科 名 ————	二級自動車整備士科・一級自動車整備士科 				
科目名	図面				
履修年次	1年次	履修学期	4月~2月	授業形態	講義
総時限	6時限	単位時間数	1	10.8時間(0.7単位	Ī)
教科書等 持参品	・赤門オリジナ	ルテキスト(製図)		
教科担当	・我妻 孝 ・三島 哲 ・榊原 友紀	・皆川 幸正 ・	大和田 英彦 ・佐藤	を信也 ・吉田 直人・同	岡崎 英貴
目的				試験に合格できる こ対応できる技能	
	項目				時 限
	・製図の基礎				2
	・機械製図				1
概要	・機械部品の製	図			1
	・電気配線図				1
	・図面の管理				1
	・自動車整備士	として必要な	よ製図の基礎、	幾械製図における	第三角法、
四十四	第一角法の表	し方、スケッ	ッチ及び自動車	電気配線図等の基	礎知識を
到達目標 	習得する。				
使用教材					
	※ 定期試験の後	 - - - - - - - - - - - - - - - -		4~65点:4 64~50	 D点:3 合 格
の方法			4	9~30点:2 29~	0点:1 不合格
教科担当の 自動車整備経験	自動車販売・整備に	関わる会社にて		の勤務経験がある。	

学科名	二級自動車整備士科・一級自動車整備士科						
科目名	自動車工学						
履修年次	1年次	履修学期	4月~2月	授業形態	講義		
総時限	21時限	単位時間数		87.8時間(2.5単位	立)		
教科書等 持参品	・基礎自動車工	学					
教科担当	・我妻 孝・三島 哲 ・榊原 友紀	・皆川 幸正 ・	大和田 英彦 ・佐藤	係信也・吉田 直人・	岡崎 英貴		
目的	 理解し自動車(・自動車の構造と機能及び保守整備の知識を元に、自動車という乗物を 理解し自動車の基礎知識の習得を目的とする。 ・自動車技術に関係する単位の意味を理解する。					
	項目				時 限		
	・自動車の概要				4		
	・自動車の構造				9		
	・自動車の材料				4		
概要	・自動車の機械	要素			4		
	・燃料及び潤滑	削			4		
	・基礎的な原理	と法則			4		
	・自動車の諸元				4		
	・自動車の機能	・構造を理解	解する。				
 到達目標	・自動車に係る	基本的な原理	理、原則を理解	する。			
工工工厂	・国家2級試験	工学分野の	基礎を理解する	0			
	・国家2級試験	工学分野の	問題が解ける。				
使用教材							
成績評価	※ 定期試験の復	 景点により	100~85点:5 8	4~65点:4 64~5	0点:3 合格		
の方法			4	9~30点:2 29~	0点:1 不合格		
教科担当の 自動車整備経験	自動車販売・整備に	関わる会社にて	自動車整備士として	の勤務経験がある。			

学科名	二級自動車整備							
科目名	自動車の力学数学							
履修年次	1年次	履修学期	4月~12月	授業形態	講義			
総時限	12時限	単位時間数	2	21.6時間(1.4単位	<u>'</u>			
教科書等 持参品	・自動車整備士	計算の基礎	と問題					
教科担当	・我妻 孝 ・三島 哲 ・榊原 友紀	・皆川 幸正 ・	大和田 英彦 ・佐藤	《信也 ・吉田 直人・「	岡崎 英貴			
目的		・自動車に関する各種の計算問題が確実に解ける。 ・出題の変化にも対応できる応用力を身に付ける。						
	項目				時限			
	・速度、平均ピ	ストンスピ	ード		2			
	・トルクレンチ	(力・長さ	・トルク)		1			
	・加速度・電力	量1(Who	の計算)		2			
概要	・ファイナル(タイヤの左	右の回転数)		1			
	・タイヤの回転	数、車速()	エンジン回転数が	から)	2			
	・駆動力(エン	ジントルク	から)		2			
	・エンジンの排	気量と圧縮	比		2			
	・国家 2 級試験	工学分野の	計算問題の基礎	を理解する。				
到達目標	・国家2級試験	工学分野の	計算問題が解け	る。				
使用教材								
成績評価	※ 定期試験の役	――― 身点により	100~85点:5 84	4~65点:4 64~5	0点:3 合格			
の方法			4	9~30点:2 29~	0点:1 不合格			
教科担当の 自動車整備経験	自動車販売・整備に	関わる会社にて	自動車整備士として	の勤務経験がある。				

学科名	二級自動車整備士科・一級自動車整備士科				
科目名	自動車法規(車両	法)			
履修年次	1年次	履修学期	4月~2月	授業形態	講義
総時限	12時限	単位時間数		21.6時間(1.4単位)	
教科書等 持参品	・法令教材				
教科担当	・我妻 孝・三島 哲 ・榊原 友紀	・皆川 幸正 ・大和	印田 英彦 ・佐藤 信	也 ・吉田 直人・岡崎 英貴	
目的	・道路運送車両法の ・道路運送車両法の ・自動車の整備事業)検査等を理解す	る。		
	項目				時 限
	・道路運送車両法の	の概要			1
	・第1条~11条				1
	・第15条〜49条				1
	・第50条~63条				2
概要	・第66条~71条の	2			2
	・自動車の整備事業	色の概要			1
	・第77条~91条の	3			1
	・第92条~95条				1
	・第97条の2~99第	≩ の2			2
	・道路運送車両にて	いて理解する。			
到達目標	・使用者の行う点検	(整備について理	解する。		
	・自動車整備士の国	国家試験問題が解	ける学力を目指す。 		
使用教材					
成績評価	※ 定期試験σ	得点により	100~85点:5 8	4~65点:4 64~50点:	3 合格
の方法				49~30点:2 29~ 0点	[:1 不合格
教科担当の 自動車整備経験	自動車販売・整備に関	関わる会社にて自動	ー 助車整備士としての難	か務経験がある。	

学科名	二級自動車整備:	士科・一級	自動車整備士科				
科目名	ガソリンエンジ	ガソリンエンジン					
履修年次	1年次	履修学期	4月~2月	授業形態	講義		
総時限	22時限	単位時間数		39.6時間(2.6単位)			
教科書等 持参品	・3級自動車ガン	ハリン					
教科担当	・我妻 孝 ・三島 哲 ・榊原 友紀	・皆川 幸正 ・	大和田 英彦 ・佐腐	を信也 ・吉田 直人・阿	岡崎 英貴		
目的	講義を通じて自動車の	のガソリンエン	,ジンの構造、作動を	理解し、基礎学力の向	可上をする。		
	項目				時限		
	・内燃機関の概要				1		
	・ガソリンエンジン				4		
	・熱効率、異常燃焼				3		
概要	・排気ガス				2		
	・バルブタイミング				4		
	・潤滑装置、冷却装置	置、燃料装置、	吸排気装置		4		
	・電子制御装置				4		
	・ガソリンエンジン	を整備するため	こに、エンジンの基礎	的項目を理解する。			
到達目標	・ 簡単な内容であれ	ば、お客様に	説明できることを目技	旨す。			
	・自動車整備士の国際	家試験問題を解	解ける学力を目指す。				
使用教材							
成績評価の	※ 定期試験の復	 景点により	100~85点:5 8	4~65点:4 64~50)点:3 合格		
方法			4	19~30点:2 29~	0点:1 不合格		
教科担当の 自動車整備経験	自動車販売・整備に	関わる会社にて	自動車整備士として	の勤務経験がある。			

学科名	二級自動車整備:	 士科・一級	自動車整備士和	 斗		
科目名	燃料潤滑					
履修年次	1 年次	履修学期	4月~2月	授業形態	講義	
総時限	5時限	単位時間数		9.0時間(0.6	単位)	
教科書等 持参品	・3級自動車ガン	ノリン・3級	自動車ジーゼ	ル・3級シャシ	・基礎自動車工	 <u>:</u> 学
教科担当	・我妻 孝 ・三島 哲 ・榊原 友紀	・皆川 幸正 ・	大和田 英彦 ・佐	፰藤 信也 ・吉田 直	人・岡崎 英貴	
目的	・自動車に使用される燃料及び潤滑剤に					
	項目				時限	ķ
	・石油の精製(G,D)	天然ガスの精	製・燃料の発熱	星	1	
	・ガソリンの製法、	性状、添加剤	・ジーゼルの製法	5、性状	1	
概要	・オクタン価とセタ:	ン価、引火点と	_着火点		1	
	・エンジンオイルの	粘度と分類法、	必要な性状		1	
	・潤滑の目的、潤滑	剤の種類 ・ク	ブリースの目的、租	類	1	
	・燃料及び油脂を理解	解する。				
训李口擂	・ 簡単な内容であれ	ば、お客様に記	说明できることを問	目指す。		
到達目標	・自動車整備士の国際	家試験問題を解	ぱける学力を目指す	-		
使用教材						
成績評価	※ 定期試験の復		100~85点:5	84~65点:4 6	4~50点:3 合	格
の方法				49~30点:2 2	9~ 0点:1 不行	合格
教科担当の 自動車整備経験	自動車販売・整備に	関わる会社にて	自動車整備士とし	ての勤務経験がある	ప .	

学科名	二級自動車整備:	 士科・一級自]動車整備士科				
科目名	自動車電気・電装						
履修年次	1年次	履修学期	4月~2月	授業形	態	講義	
総時限	6時限	単位時間数		10.8時間(0.			
教科書等	・3級自動車ガン	/リン ・	3級自動車ジー	·ゼル			
持参品	・3級自動車シャ	シ・	基礎自動車工	学			
教科担当	・我妻 孝 ・三島 哲 ・榊原 友紀	・皆川 幸正・:	大和田 英彦 ・佐藤	藤 信也 ・吉田 直丿	、・岡崎 英貴		
目的	・自動車に使用される	ている電装品を	理解するために、質	電気の基本を理解し	ハ		
目的	電装品について基準	本的な点検、整	備、故障探求がでる	きることを目指す。			
	項目					時 限	
	・電気の基礎を理解す	する。				1	
	・オームの法則を理解	解する。				2	
1 917 215	・自動車に使用され ⁻	ている半導体の	役割、作動を理解す	する。		1	
概要	(半導体~ホト・	ダイオード)				1	
	・バッテリの構成部は	品、名称、役割	を理解する。			1	
	・バッテリの構造・化	作動・整備方法	を理解する。			1	
	・自動車に使用され ⁻	ている電装品の	種類、役割を説明 ⁻	できる。			
	・電気の基礎(電流、	電圧、抵抗等)を説明できる。				
到達目標	・オームの法則を説	明でき、電気の	計算(合成抵抗ま ⁻	で) ができる。			
	 ・バッテリの構造、 [‡]	幾能、整備を理	解する。				
 成績評価	※ 定期試験の	 得点により	100~85点:5	84~65点:4 6	 54~50点:3	 合 格	
の方法				49~30点:2	29~ 0点:1	不合格	
教科担当の 自動車整備経験	自動車販売・整備に	関わる会社にて	自動車整備士とし ⁻	ての勤務経験がある	5.		

学科名	二級自動車整備	 士科・一級自	 動車整備士科		
科目名	電子理論				
履修年次	1年次	履修学期	4月~2月	授業形態	講義
総時限	13時限	単位時間数		23.4時間(1.5単位)	
教科書等	・3級自動車ガン	リン・	3級自動車ジーも	ヹ ル	
持参品	・3級自動車シャ	シ・	基礎自動車工学	<u>-</u>	
教科担当	・我妻 孝 ・三島 哲 ・榊原 友紀	・皆川 幸正 ・	大和田 英彦 ・佐藤	信也 ・吉田 直人・岡崎 苺	貴
目的	・自動車に使用される	ている電装品をす	理解するために、電気	気の基本を理解し、	
	電装品について基本	本的な点検、整体	備、故障探求ができる	ることを目指す。	
概要	項目				時 限
	・自動車に使用される	ている半導体の行	役割、作動を理解する	3.	2
	(半導体~ホト・ク	ダイオード)			
	・モータの原理/分類	を理解する。			2
	・始動・発電・充電	・点火装置の役割	割、構成部品を理解 ⁻	する。	2
	・各装置の構造・名称	か・作動・電気の	の流れを理解する。		2
	・点火時期制御を理解	解する。			2
	・予熱装置の構造、名	名称、電気の流	れ、制御を理解する。	,	1
	・自動車に使用される	ている電装品の	構造・作動を理解する	ప .	2
	・自動車に使用される	ている電装品の	種類、役割を説明で	きる。	
	・自動車に使用される	ている半導体の行	役割、作動を説明で	きる。	
加生口無	・バッテリの構造、ホ	幾能、整備を説	明できる。		
到達目標 	・始動・充電・点火	予熱装置の構造	告、作動を説明でき ^る	3 .	
	・自動車に使用される	ている電装品の	構造・作動を説明でる	きる。	
使用教材					
成績評価	※ 定期試験の	得点により	100~85点:5 8	4~65点:4 64~50点	: 3 合格
の方法			4	49~30点:2 29~ 0点	: 1 不合格
教科担当の 自動車整備経験	自動車販売・整備に関	関わる会社にて	自動車整備士としての	の勤務経験がある。	

学科名	二級自動車整備	二級自動車整備士科・一級自動車整備士科					
科目名	シャシ I	シャシ [
履修年次	1年次	履修学期	4月~2月	授業形態	講義		
総時限	21時限	単位時間数		37.8時間(2.5単位)			
教科書等 持参品	・3級自動車シャシ	・自動車整備	- 請士3級シャシ問題。	と解説			
教科担当	・我妻 孝・三島 哲 ・榊原 友紀	・皆川 幸正	・大和田 英彦 ・佐藤	泰 信也 ・吉田 直人・降	岡崎 英貴		
目的		各構成部品の名		ョン・ステアリング装置 B解し自動車整備業界で	·		
	項目				時限		
	・自動車の原理と性質	能、自動車の安	定全装置		2		
	・動力伝達装置概要	2					
	・クラッチ・マニュ	2					
	・プロペラシャフト	・ドライブシャ	ァフト・ユニバーサル	ジョイント	2		
概要	・スプリング				2		
	・ショックアブソー	Ϋ́			2		
	・ステアリング概要	・構造・機能			3		
	・ギヤ機構・リンク	幾構			3		
	・パワーステアリンク	グ			3		
	・動力伝達装置の概念		必要性の説明が出来る	5			
到達目標	・アクスル及びサス						
	・ステアリング装置(の概要を理解し	ノ、必要性の説明出来	そる。			
使用教材							
成績評価の方法	※ 定期試験の役	※ 定期試験の得点により 100~85点:5 84~65点:4 64~50点:3 合格 49~30点:2 29~ 0点:1 不合格					
教科担当の 自動車整備経験	自動車販売・整備に	関わる会社にて	こ自動車整備士として	の勤務経験がある。			

学 科 名	二級自動車整備:	士科・一級	自動車整備士科		
科目名	シャシⅡ				
履修年次	1年次	履修学期	4月~2月	授業形態	講義
総 時 限	21時限	単位時間数		37.8時間(2.52単位)
教科書等 持参品	・3級自動車シャシ	・自動車整備	計士3級シャシ問題の	と解説	
教科担当	・我妻 孝 ・三島 哲 ・榊原 友紀	・皆川 幸正 ・	・大和田 英彦 ・佐藤	養信也 ・吉田 直人・降	岡崎 英貴
	講義を通じて制動装置	置・ホイール・	タイヤ・ホイールブ	プライメントを学び, 実	
目的	用いた講義を通じて	各構成部品の名	呂称、構造、作動を理	2解し自動車整備業界で	で活用する術を身
	に付けることを目的。	とする。			
	項目				時限
	・タイヤ・ホイール	既要・構造・機	· · · ·		1
	・タイヤに起こる異常	1			
	・ホイールバランス				2
	・ホイールアライメ	2			
	・キャンバ・キャスク	タ・SAI			2
概要	・トー・スラスト角	・セットバック	フ・切れ角		2
	・ブレーキ装置概要	・構造・機能			3
	・油圧式ブレーキ				2
	・制動倍力装置	3			
	・トラクションコン	トロール			1
	・フレーム・ボデー	・塗装概要・橇	満造・機能		2
	・自動車に必要なブ	レーキ性能の説	 説明が出来る。		
到達目標	・ブレーキ装置の概要				
	・ホイール・タイヤの	の種類・構造を	と理解し、機能の説明	引出来る。 	
使用教材					
成績評価の方法	※ 定期試験の役	 身点により		4~65点:4 64~50 49~30点:2 29~	
教科担当の 自動車整備経験	自動車販売・整備に	要わる会社にて	「自動車整備士として	の勤務経験がある。	

学科名	二級自動車整備	土科・一級	自動車整備士科				
科目名	二 輪						
履修年次	1 年次	履修学期	8月~12月	授業形態	講義		
総時限	6時限	単位時間数		10.8時間(0.7単位))		
教科書等 持参品	・3級自動車シャシ	・自動車整備	請士3級シャシ問題。	と解説			
教科担当	・我妻 孝 ・三島 哲 ・榊原 友紀	・皆川 幸正 ・	大和田 英彦 ・佐藤	泰信也 ・吉田 直人・『	岡崎 英貴		
目的		各構成部品の名		プライメントを学び,乳 1解し自動車整備業界で			
	項目				時 限		
	・2輪車エンジン概	要・構造・機能			1		
	・燃料装置・吸排気	1					
1 00 æ5	・動力伝達装置(ク	ラッチ・アクス	い・サスペンション	·)	1		
概要	・ステアリング装置、	タイヤ・ホイ	(ール		1		
	・バッテリー・充電	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			1		
	・ブレーキ装置概要	・構造・機能			1		
	・2輪車エンジン概要	要・構造・機能	6の説明が出来る。				
到達目標	・ブレーキ装置の概	要を理解し、必	必要性を説明が出来る	5.			
	・ホイール・タイヤの						
	・ホイールアライメ	ントについて、	必要性の説明出来る				
使用教材							
成績評価の方法	※ 定期試験の役	※ 定期試験の得点により 100~85点:5 84~65点:4 64~50点:3 合格 49~30点:2 29~ 0点:1 不合格					
教科担当の	自動車販売・整備に	 関わる会社にて	「自動車整備十として				
自動車整備経験		.,,, 04110		D D CO 0//WHEN-C/C CIRC 0			

学科名	二級自動車整備士科・一級自動車整備士科					
科目名	整備機器・基礎整備					
履修年次	1年次	履修学期	4月~2月	授業形態	講義	
総時限	8時限	単位時間数				
教科書等 持参品	・基礎自動車整備作業					
教科担当	・我妻 孝 ・三島 哲 ・皆川 幸正 ・大和田 英彦 ・佐藤 信也 ・吉田 直人・岡崎 英貴・榊原 友紀					
目的	・自動車を整備する上での工具、測定具の構造、取り扱い、保守等を理解する。 ・作業の安全や効率又は精度に大きく影響するので、その取扱いに当たり、					
	正しい使用法を習得する。					
	項目				時限	
	・工具の分類(オ	4				
概要	ドライバ・プライヤ)等の使用方法					
111/1 52	・作業機器(インパクトレンチ・ドリル・卓上ボール盤・				4	
	グラィ					
	・作業工具の取り扱い方法及び保守について理解する。					
到達目標	・切削、研削工具の取り扱い方法及び保守について理解する。					
使用教材						
成績評価	※ 定期試験の得点により 100~85点:5 84~65点:4 64~50点:3 合格					
の方法	49~30点:2 29~ 0点:1 不合格					
教科担当の 自動車整備経験	自動車販売・整備に関わる会社にて自動車整備士としての勤務経験がある。					

学科名	二級自動車整備士科・一級自動車整備士科					
科目名	測定機器					
履修年次	1年次	履修学期	4月~2月	授業形態	講義	
総時限	9時限	単位時間数				
教科書等 持参品	・基礎自動車整備作業					
教科担当	・我妻 孝 ・三島 哲 ・皆川 幸正 ・大和田 英彦 ・佐藤 信也 ・吉田 直人・岡崎 英貴 ・榊原 友紀					
目的	・自動車を整備する上での工具、測定具の構造、取り扱い、保守等を理解する。 ・作業の安全や効率又は精度に大きく影響するので、その取扱いに当たり、 正しい使用法を習得する。					
	項目				時 限	
概要	・測定と検査(測	3				
	・一般測定器(直	6				
	5					
・自動車整備における計測作業の必要性、重要性を理解する。 ・一般測定器の取り扱い方法及び保守について理解する。						
到達目標	・一般測定器の測定が正しくできる。					
	・作業精度、作業能率の向上の重要性を理解する。					
使用教材						
成績評価	※ 定期試験の得点により 100~85点:5 84~65点:4 64~50点:3 合格					
の方法	49~30点:2 29~ 0点:1 不合格					
教科担当の 自動車整備経験	自動車販売・整備に関わる会社にて自動車整備士としての勤務経験がある。					

学科名	二級自動車整備士科・一級自動車整備士科					
科目名	検査機器					
履修年次	1年次	履修学期	4月~2月	授業形態	講義	
総時限	6時限	単位時間数	10.8時間(0.7単位)			
教科書等 持参品	・基礎自動車整備作業					
教科担当	・我妻 孝 ・三島 哲 ・皆川 幸正 ・大和田 英彦 ・佐藤 信也 ・吉田 直人・岡崎 英貴 ・榊原 友紀					
目的	・自動車を整備する上での工具、測定具の構造、取り扱い、保守等を理解する。					
	・作業の安全や効率又は精度に大きく影響するので、その取扱いに当たり、					
	正しい使用法を習得する。					
概要	項 目				時限	
	・保安基準適合研	6				
	スピードメーターテスタ・ヘッドライトテスタ)等の使用方法					
到達目標	・保安基準適合の	確認機器の使用	方法を理解する	0 0		
使用教材						
成績評価	※ 定期試験の得点により 100~85点:5 84~65点:4 64~50点:3 合格					
の方法	49~30点:2 29~ 0点:1 不合格					
教科担当の 自動車整備経験	自動車販売・整備に関わる会社にて自動車整備士としての勤務経験がある。					

学科名	二級自動車整備士科・一級自動車整備士科					
科目名	教養(一般科目)					
履修年次	1年次	履修学期	6月~8月	授業形態	講義	
総時限	4時限	単位時間数	7.2時間(0.4単位)			
教科書等 持参品	・ソーシャル検定(基本テキスト)					
教科担当	・我妻 孝 ・三島 哲 ・皆川 幸正 ・大和田 英彦 ・佐藤 信也 ・吉田 直人・岡崎 英貴・榊原 友紀					
目的	・新社会人としてのマナー、新入社員としての基本、現代社会のルール、 社会のマナー・モラル・常識を学び好感を抱かれる様に成る事を目標と する。					
概要	項目				時 限	
	・社会人としての基準	1				
	・電話の取り扱いと敬語の使い方				1	
	・仕事の進め方				1	
	・訪問と接客				1	
到達目標	・社会人としての常識を身に付け、実際の場面で一番良い言動及び行動が					
27,221 (8)	出来る。					
使用教材						
成績評価	※ 定期試験の得点により 100~85点:5 84~65点:4 64~50点:3 合格					
の方法	49~30点:2 29~ 0点:1 不合格					
教科担当の 自動車整備経験	自動車販売・整備に関わる会社にて自動車整備士としての勤務経験がある。					